

ゆずりは

NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは
会報誌第18号 令和2年10月15日発行

ごあいさつ



NPO 法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは
代表理事 和泉 喜久男
(認定こども園 難波愛の園幼稚園園長)

会員の皆様をはじめ、関係の皆様方には、平素より本法人の活動にご理解、ご協力及びご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

今朝の地元新聞によりますと、兵庫県内で新型コロナウイルスの感染者が初めて確認されてから、今日9月1日で半年になり、8月30日現在では、感染者は2,200人を超えているとありました。前号(会報)17号では、3月25日現在兵庫県内では118人とお伝えしましたが、約5か月で累計感染者は20倍近くになっています。国の見解では、拡大のピークは過ぎたとのことですが、油断はできない状態はしばらく続きそうです。

さて、このような状況の中で、私たちが支援している若手芸術家の皆さんは、今年の3月以来、コンサートやイベント等の中止のため、苦境に立たされています。芸術鑑賞については、ホールでの公演はできるようになりましたが、ソーシャルディスタンスのため、客席の半数しかお客さんを入れることができません。つまり、赤字を覚悟で実施しなければなりません。また、オンラインを使った動画配信での演奏も行われるようになりましたが、やはり多くの方々は、生の音楽を早く味わいたいと思っておられることでしょう。とにかく早くコロナが終息することを願うばかりです。今回の会報では、そのような状況の中で頑張っている若手芸術家から、現在の状況や思いを寄稿して頂きましたので、是非ご一読して頂ければと思います

本法人も今年7月から10年目に入り、来年5月には10周年記念コンサートを開催いたします。このコンサートに関する詳細は、会報の末尾に記載してるとおりです。たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

これからも本法人は、活動趣旨であります、若手芸術家の支援と地域社会のより豊かな文化向上を目指してまいります。できるだけコストを抑えて依頼者の思いに沿ったプログラム(音楽構成)を提案し演奏をさせていただきますので、保育所や幼稚園、小・中・高等学校をはじめ、病院、ホテル、介護施設などの諸施設等、様々な団体様からの演奏依頼をお待ちしております。音楽に関するイベントを企画される際には、是非とも本法人に声をかけて頂きたいようお願い申し上げます。

最後に本法人へのご理解とご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

「ゆずりは」は10周年を迎えました！

当法人は、2011年7月21日に設立し、本年7月より10年目の活動に入りました。これもひとえに法人の趣旨に賛同しご支援くださる皆様のお陰です。厚く御礼申し上げます。

10周年を迎え、記念事業や記念誌の発行も予定しており、今後ますますの発展を目指して、関係者一同、心をひとつに取り組んでいく所存です。今後とも一層のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

法人名の由来である「ユズリハ」という植物の名は、新しい葉が伸びて古い葉が落ちることから、世代が絶えることなく引き継がれていくことを意味しています。この「ユズリハ」のように私たちの活動も、芸術家を目指している若い演奏家の育成を目的としています。また、その活動がこころ豊かな社会づくりに貢献することを願っています。



コロナ禍を乗り越える

コロナ禍の中で思うこと

チェロ 片岡 あづさ



こんな世の中になるなんてという言葉しか出ません。私にとって演奏する場所がなくなるということが大きなストレスとなり、音楽を続けていけるかどうかの不安でいっぱいの数ヶ月でした。と同時に、演奏できる環境のありがたさを痛感する日々でした。中でも「少しでもいま自分ができることを」と前向きになれたのは県西音楽科の時から10年近く付き合いがある仲間たちのおかげです。不安はたくさんあるけれど様々な対策をした上で、できる範囲のことはやろう！やりたい！と思うようになりました。緊急事態宣言の時から始めた動画作成は今も続けています。「伝えることに意味がある」その一言に尽きます。

とても不自由で思うようにいかないことが多いかもしれませんが、音楽は誰かの支えになったり、憧れになったり、道標になったり、人のハートになくしてはならないものです。発信することをやめてしまったら、何も生まれません。何も伝わりません。いまだからこそ、力を振り絞って動かなければいけないという気持ちでいます。最近、本番演奏していると涙が出るほど嬉しく、幸せに思います。聴いてくださるお客様にとっても、私たち演奏家にとっても、ハートに響く音楽を目指して精進していきたいと思っています。【Azusa Kataoka YouTube チャンネル↓】

<https://www.youtube.com/channel/UCEK7pUJX6yRL4oJdb1abK2g>



8/4 小学校での特別授業 音楽鑑賞会

no life no music

ヴァイオリン 河村 真央

「こんな時だから音楽を」「こんな時に音楽をしていいのだろうか」両方の思いが行ったり来たり。これが五月の非常事態宣言時の私の心境でした。しかし今は、no life no music。演奏活動ができない日々を経ての結論です。

三月頃から本番が1つ、また1つとなくなっていました。生徒さんへのレッスンもリモートに切り替えました。自然とおうち時間が長くなり、リモートアンサンブルをSNSに上げるなど初めての試み、無観客コンサートも経験することができました。が、どこか物足りなさも……。そして、やっと先日、約5ヶ月ぶりにお客様の前で室内楽の演奏会をしました。リハーサルではマスク着用、座席は定員の約半数の171名、お客様にはマスク着用、検温、氏名の記入、消毒をしていただき、プログラムも1時間という異例のコンサート。選曲の制限、舞台上での演者同士の距離感など不自由さの中でも人と演奏する楽しさ、聴いていただける嬉しさ等、「生」の演奏会でないと味わえない空気を感じました。

YouTubeを使った配信など、多数の方に聴いていただける方法の良さを実感したと同時に、視聴者と演者が同時に同じ場所で気持ちを共有することの心地良さは代え難いものがあると知ったこの半年。貴重な時間となりました。



座席数を制限して行った異例のコンサート

この期間だからこそ出来たこと

ヴァイオリン 廣田 真理衣



私がこの自粛期間中に始めたことの一つは、何かの本番のためという訳ではないけれど、弾いてみたいと思っていた曲を譜読みすることです。去年から弾いてみたい曲をリストアップしていたのですが、実際には次の本番、合わせの曲をこなすのに精一杯で中々実現できていませんでした。そのため、この期間を使っていつもより丁寧に譜読みをすることができ、とても充実した日々を過ごすことができました。

二つ目は、リモートアンサンブル、オーケストラ、1人2役の演奏などに挑戦したことです。このことをきっかけに、普段バラバラの場所において中々集まらない高校の友人や、幼なじみ、外出できないため直接会えない大学の友人と久しぶりに一緒に演奏でき、リモートならではの繋がりを持ってとても嬉しかったです。また、その出来上がった動画をSNSに投稿すると、地元の友人や先生、中々会えない親戚などがコメントをくださり、それをきっかけに久しぶりに連絡が取れたこともとても嬉しく思いました。このように、辛かった緊急事態宣言中も音楽のおかげで乗り越えることができ、素晴らしいを再確認することができました。



リモート演奏の様子

ゆずりは演奏家たちの思い～



自粛期間を振り返って

サクソフォン 三柳 香織

早いもので今年もあとわずか2ヶ月余り。今年は本当は、自分の節目になる予定で、期待を胸に年明けを迎えました。が、2月には雲行き怪しく、3月は仕事の半分が延期、キャンセル、4月は完全ストップに。次から次へとくる連絡メールに怯えながら過ごした春でした。5月の連休のライブやコンサートは消えずと連休。気がつけば半袖になり、少しずつ動き出した6月。7、8月も急なキャンセルはあるものの、秋以降の予定も入ってくるという荒波を乗り越え9月。今年初のコンサートもあり、余裕も出てきたかな..の最近です。何が正解かも分からず、手探りでやっていくしかないなと開き直っております。今までは与える側だと思っていたが、本当は周りからたくさん与えられて自分があるのだと気づきました。今の経験が何年後かに必ず生きると信じて、前向きに今できる事に一生懸命に過ごしていきたいと思えます。



近所の桜



自宅練習室

「生演奏」の意味

ピアノ 高濱 莉乃



このコロナ禍において、私は「生演奏」することの意味について考えたことを少し書きたいと思えます。私はこの期間中に数々のコンサートが中止になりました。この世の中から一番最初に排除されてしまったのが「生演奏」と言っても過言ではありません。私はこの事に大変心痛めました。それでもここ最近ではリモート演奏がたくさん行われるようになりましたが、やはり人間と人間との間に生まれる音楽は、リモート演奏では伝えきれないことが多く、音楽がいつでもどこでも聴ける便利になった時代でも「生演奏」の素晴らしさ、心に響く感動の大きさには到底敵わない。演奏者の心によって立体的に作られた魂のこもった音楽が生身の聴衆の心に直接訴えかけることがいかに素晴らしいことか、！！

コロナ禍である今は、原点を見つめ直す期間、理想とする「生演奏」を作り上げるための準備期間としてさらに成長できるよう、また「生演奏」ができる日を願って日々精進したいと思えます。



取り戻したい日常

ピアノ 島多 璃音

本来なら4月から大学の授業が始まり、大学の校舎や食堂で友達とくだらない会話を繰り返していたはずであるが、今年は5月初めまで休校、そこから地獄のオンライン授業がスタートした。時には朝から夕方までずっとパソコンとにらめっこ。期末試験が軒並みレポートになったことで、この夏休みは10個以上のレポートを書く羽目になった。実技レッスンも5月末までオンライン。一部は対面レッスンに戻ったが、今も大学立ち入りには制限がかかっている。



「密」を避けるプログラムの配信

一方、3月に予定されていたリサイタルを延期し、7月に開催。新型コロナウイルスの影響でお客様に来ていただけるかとても不安だったが、多くの方のご来場を賜ることができた。今回は入場時に検温、会場に消毒液を多数設置し、席を離してプログラムを置く(写真)など、感染防止対策を講じて実施した。公演から1か月経ったが、今のところ会場での感染等の報告はなく一安心。早く「昔の」日常へ戻ってほしいと願うばかりである。

六甲荘で過ぎす聖なる夜～クリスマスミュージックライブ&ディナー

2020年12月19日(土) 毎年恒例のクリスマスライブです！！

出演：木寺 里穂 (サクソフォン) 酒井 友美未 (ピアノ)



ご予約について詳細はホームページまたはチラシをご覧ください <https://www.yuzuriha-art.or.jp/>

このコロナの大変な中、私は教えている教室のレッスンはオンラインレッスンになったり、私自身の対面レッスンは休止になったり、ヤマハグレードが休止になったり、エレクトーンコンクールも中止という大変な事態になりました。その中、コロナ禍で演奏を届ける方法としてはYouTubeで自分の演奏を録画しアップするという方法や、インスタグラムにも私の演奏を掲載させていただいておりますので、インスタグラムで自分の演奏を届けるというのもありなのではと思っています。そして、5月にサクソフォン奏者の上野耕平さんとリモート演奏でコラボする機会がありこちらもYouTubeに掲載され様々なサイトにも取り上げられています。また7月にはラミュージズドレスさんの収録コンサートで非観客演奏会という形で出演させて頂き、その様子もYouTubeに掲載されています。今は対面レッスンも始まっていますが、消毒やマスク着用の徹底したうえでレッスンを行ったり、私自身のレッスンも受けています。またコロナが怖いなど様々な事情でレッスンが受けられない方のために、経験者限定ではありますが、オンラインレッスンをしようとして募集をかけています。

※ラミュージズドレス収録コンサート <https://www.youtube.com/channel/UCSDNTei-XqC4oUVMDOftFZw>



音楽配信の可能性について考える

トロンボーン 日浦 栄輝
フルート 三田 智美



文化庁が行っている“文化芸術活動の継続支援事業”を利用して9月と10月の2回、生配信演奏会に挑戦しました。通常の演奏会にかかる費用の他に、高音質・高画質と安定した配信のために配信委託費用がかかったため、今回の支援事業がなければ実現は難しかったです。

生演奏とは違いスタジオでマイクに向けて音を入れていくこと、エンジニアの方とともに演奏会を作っていくこと、初めてのことで戸惑うところもありましたが、配信データを確認すると予想よりもずっと良い音質と演奏に合ったカメラワークで配信して頂いており、感動しました。

リアルタイムでなくてもそれぞれの都合に合わせて、演奏会後2週間は録画データで視聴できる点、遠方の方でも楽しんでいただける点は大変好評を頂きました。

「やはり生演奏が良い」というのはよく聞く話ですが、比べるのではなく別物として素晴らしいものであり、今後可能性が広がっていく分野だと感じました。



ゆずりは主催コンサート開催情報！

第9回ゆずりはコンサート 2020年11月15日(日) 14時開演

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

チケットのご予約受付中！！ 070-5652-8878

NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは 設立10周年記念 第10回ゆずりはコンサート

2021年5月9日(日) 13時半開演予定 神戸新聞 松方ホール

第1部 大森花(ソプラノ) / 菅田真弓・塚本美美香(ピアノ連弾)

大村優希恵・野村茉由(フルート) 尾上理絵(ピアノ)

第2部 モーツァルト / 交響曲第29番 演奏：ゆずりは管弦楽団(仮称)

モーツァルト / ピアノ協奏曲第23番 指揮：上田 真紀郎 ピアノ：秋元 孝介
他 ピアノソロ曲

チケットのご予約は順次承ります。お楽しみに！！



発行・お問い合わせ先：NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは

Tel. 080-3760-4023(代表) 070-5652-8878(事務局)

Mail: yuzuriha.office@gmail.com ホームページ: <http://yuzuriha-art.or.jp/>